

1学期 振り返り

学習面では、授業中、先生の話をし
っかり聞いてたと思いますが、発表す
る人が固定し、色々な人の意見が聞け
なかったり、考えが広がらなかったり
する所がだめでした。生活面の良かった
所は、男女問わず仲が良く、掃除や係の仕事などで、
協力し合っている所と、学級目標を意識しながら生活で
きている所です。悪かった所は、行動が遅い所で、例え
ば、給食準備が遅かったり、3分前着席が守れている人
が少ない所です。

二学期は、一学期で悪かった所は少しずつでも改善し、
良かった所はもっとのばしていけると思います。行事な
どを通し、さらにお互いを知り、お互いを認め合える学
年にしていきたいです。

1-A

今学期は、異例の中始まりました。ぼくたち、2年生
はクラス替えがあり、新しい環境でのスタートです。2
年生は、とても元気であいさつが大きかったり、授業中
の挙手が多かったりと良いところはいっぱいあります。
しかし、先日の総合強調週間での忘れ物チェック表にま
るがあまりついていかなかったり、5、6時間目まで、集
中力を保てない人も多くいます。総合強調週間によって、
2年生の良い点と課題点がはっきりしました。

二学期は、宿泊研修など色々な行事が予定されていま
すが、都心ではコロナの第2波が来ており、いつ北海道
に来るか分からない不安もありますが、このあとも、体
調管理に気を付けながら、楽しく夏休みを過ごしましょ
う。

2-B

一ヶ月以上の休校を経て、再開した一学期。そこで自
分は、「全力生活」をテーマに過ごした。「全力生活」と
は、日常生活に向き合い、できる限り全力で楽しむとい
うことだ。二度目の休校期間で僕は、普通の生活がどれ
だけ恵まれていたか実感した。学校で友達と会話し、み
んなと野球をする日々が当たり前ではなくなる。そんな
特別な時間を過ごしたからこそ、「全力生活」のテーマ
のもと、この一学期は有意義なものにできたと思う。特
別な形でもあった一学期の中で得られたことは、多くあ
ると思う。そして、その中で、自分はこれから勉強と野
球を両立し充実させることが重要だと改めて感じだし、
卒業までの生活を思い出に深く残せるように、全力で楽
しんでいくべきだと再確認できた一学期だった。

3-C

新学期が始まったと思えばすぐに休校となり、新しい
日常生活が始まった一学期は慣れないことが多かったと
思います。一学期の総合強調週間では、全体的に委員の
呼びかけが少なかった気がします。また、委員ではない
人は、呼びかけがなくても自主的に行動できる意識の高

さが必要です。委員ではないけどできていない人に対し
て声をかけることができたらとてもすばらしいと思いま
す。不測の事態で次々を状況が変わっていく中、みなさ
んの柔軟な対応により、スムーズに進めることができました。
これからもより良い東部中を全校でつくっていき
ましょう。

生徒会副会長(2-B)

2学期 に向けて

1年B組は、明るく、とてもにぎやか
で笑顔が絶えないクラスです。休み時
間には、次の時間の準備をしたり、各
自の仕事を頑張っています。チャイム
が鳴ると、切り換えができるところも
とても良いところです。男女関係なく仲が良いので、い
つでも助け合っています。二学期はさらに団結力を高めて
いける様頑張ります。直さなくてはならない所の一つ目
は、課題の提出率が低いことです。クラスの平均点が低
いところにもつながっていると思います。二つ目は、礼
がそろわないことです。授業に臨む気持ちを強めて、そ
ろえる意識をしていきたいです。学級目標『無限の力(イ
ンフィニティフォース)』をもとに反省を生かし、良い
所を伸ばしたいです。

1-B

今日から二学期が始まります。生活面では、マスク着
用、手洗い、うがいを徹底し、密接、密集、密閉の3つ
の密をなるべく避けていきたいと思います。休み時間に密集に
なりがちなので、そうならないようにしましょう。学習
面では、日頃の授業と家庭学習を積み重ね、苦手な科目
をなくしていきましょう。夏休みの間に緩んでしまった
気持ちを取り戻し、集中力を保ちながら、授業を受けま
しょう。そして、これからは、学校祭や合唱コンクール、
宿泊研修などが予定されています。多少自由がきかない
面もあると思いますが、生徒全員協力してスムーズに進
行できるようにしましょう。

2-C

長い休校期間、一学期、約10日間の夏休みが終わり、
二学期がスタートしました。二学期は、新型コロナウィ
ルスの影響で延期になった行事などがいくつか待ってい
ます。3年生は総合学力ABCや修学旅行が、2年生は
宿泊学習があります。学校全体としては合唱コンクール
や体育祭があります。このような行事は、東部中学校の
真価が問われたり、一人一人が次のステージに向かって
成長できたりする大きなチャンスではないのでしょうか。
今後の学校生活で、臨機応変に対応する姿を23年
生が中心になって、1年生に見せてあげることで、全体
が一丸となり、この状況を乗り切ることができると思
います。

3-D